

小学生から大人まで！研究者応援の取組@愛媛大学

支援するのは女性だけではありません。保育所・学童・研究支援は育児に参加する男性も利用します。男性も女性も将来就職するときに育児支援の制度もしっかり調べておきましょう！働きやすさが変わってきますよ。

学内保育所

城北・重信地区には教職員や学生対象の学内保育所があります。送り迎えがしやすく、運動会や遠足は保護者のお休みの日に行われます。学生が実習にきたり、学生が調査を行ったりと学校との交流もさかんところは学内保育所ならではです。



学童保育

重信地区では放課後の学童保育、城北地区では長期休暇中の学童保育を行っています。保護者が面倒を見られない時間に学内に子どもがいるということで保護者も安心して仕事をすることができるよう。長期休暇の学童保育はイベント盛りだくさん！



若手研究者キャリア支援事業

育児をしている若手の研究者を対象に研究支援をしています。「研究支援員」が研究者に付き、研究者の補助はもちろん、支援員も研究者からたくさんのお話を学べます。研究者が育児をしながら研究ができる環境を整える一助となっています。



女性未来育成センター
ホームページもご覧ください
<http://hime.adm.ehime-u.ac.jp/>



サイエンスひめこ

愛媛大学の理学部・工学部・農学部・SSCIに所属する女子学生のグループです。主にリケジョに関するイベントの企画・運営をしています。小学生向けには「コムズ」(松山市男女共同参画推進センター)主催の「ママとサイエンス」、女子中高生向けには「サイエンスプリンセスプロジェクト」を開催したり、出張講義もしています。学内でも就職に向けて「キャリアパスセミナー」や「就活カフェ」を開き、リケジョの就職を応援しています。



▲ママとサイエンス



▼キャリアパスセミナー

ひめこルーム相談室

愛媛大学のすべての女性教職員・学生のための相談室。月に2回、相談員の先生が来ています。悩み相談・性格診断ができます。先生もとっても優しい！
となりにある女性未来育成センターでも気軽におしゃべりができます。明るいスタッフがいますよ！



▲ひめこルーム相談室

愛媛大学はくるみんマークを取得しています。

「くるみん」とは厚生労働省によって認定された、少子化対策を積極的にい行い子育て支援など一定の基準を満たした企業や法人などに送られる認定マークの愛称です。愛媛大学は平成25年8月25日付で取得しました。



「好き」「やりたい」を勉強しよう

愛媛大学 ダイバーシティ推進本部 女性未来育成センター

リケサポ Leaflet

～理系についてサポートします！～

ハイライト:

- 理系が日本革新！
- やりたい勉強をしよう！
- 学部選びに大事なこと
- 愛媛大学のリケジョを観察☆
- 愛媛大学内の取組

目次:

科学技術イノベーション総合戦略	P1
「好き」「やりたい」を大切に！	P1
理系進学のおすすめ	P2
愛媛大学理系女子の生態観察	P3
愛媛大学の取組	P4
女性未来育成センターについて	P4

科学技術イノベーション総合戦略 ～理系が日本革新！～

「科学技術イノベーション総合戦略」って知っていますか？

「イノベーション(innovation)」とは「新しい手段や考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、社会を大きく変える」つまり「革新」という意味です。科学技術イノベーションとは科学的な発見や発明等による新たな知識をもとに、それらの知識を進展させて経済的、社会的・公共的に役立つものをつくりだすということなのです。日本では平成25年6月に「科学技術イノベーション総合戦略」が策定されました。

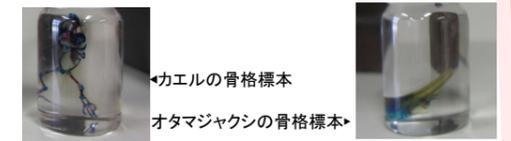
実は日本は今ピンチなのです。少子高齢化の急速な進行、経済成長の低下、新興国という国際競争相手の出現で世界での存在感が薄くなっています。(国際競争力ランキングでも2007年の4位から2012年は25位まで急落しました)また東日本大震災も起こり、そのような自然災害への対策も課題となりました。

そのような日本のピンチを救うのに、科学技術イノベーションは大きな役割を果たすと期待されています。そして国の発展に大切な経済社会の必要に応じた研究開発活動をすすめるよう具体的な数値目標や行動計画が定められました。

科学技術イノベーションが取り組む課題として①クリーンで経済的なエネルギーシステムの実現②国際社会の先駆けとなる健康長寿社会の実現③世界に先駆けした次世代インフラの整備④地域資源を“強み”とした地域の再生⑤東日本大震災からの早期の復興再生があげられています。その環境をつくりだすために若手研究者や女性研究者の研究環境の整備や大学の環境整備などの実施をかかっています。

科学技術イノベーション総合戦略については内閣府の「科学技術政策」というホームページでくわしいものが見られます。「科学技術イノベーションが取り組む課題」についてもくわしく説明しているのですが、理系の学問はこの5つの課題のどこかで役立つのではないかと思います。「自分はなんとなく理系と決めているけど、どんなことがしたいかまでわからない」という人、これを見てもらったら自分が興味を持つポイントがわかるかもしれません。興味のある人はコチラへ↓

<http://www8.cao.go.jp/cstp/sogosenryaku/index.html>(「概要」というイラスト付きの資料もありますよ。)



▼カエルの骨格標本

オタマジャクシの骨格標本

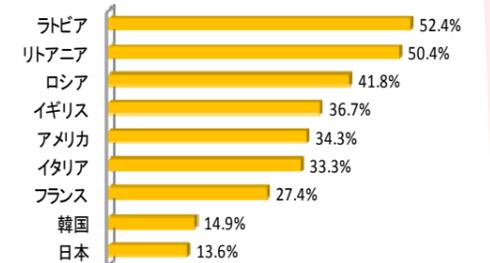
「好き」「やりたい」を大切に！

理系日本の女性研究者の割合は先進国の中では最低水準です。日本の中での女性研究者の割合は増えてきているのですが、世界に比べるとまだ低いのです。

ですが、よく考えてみると美容家電や化粧品などは普段使う女性の意見が大事だと思いませんか？また、女性の細やかな視点からの意見が新たな発想となることもあるようです。しかしまだ日本では女性の力を活かしてきていないことが多いのです。そこで日本は国をあげて女性の支援をし、結婚・出産による離職を防ぎ、日本の科学技術に優秀な人材を残そうとしています。

実際、上で紹介した「科学技術イノベーション戦略」の目標に女性研究者の採用割合の増加も入っているんです。

研究者に占める女性の割合



(参考:男女共同参画白書 平成23年版)

何でもトントン拍子に上手くいくというわけではもちろんないですが「好き」「やりたい」と思える勉強があるのは素敵なことです。今は国や皆さんの大学が理系女子(=リケジョ)を応援しています。リケジョがもっと活躍できる社会を作っていくのはみなさんたちなのです。



▲愛媛大学の研究支援の様子です。大学生が研究の補助をします。



発行元

国立大学法人愛媛大学 ダイバーシティ推進本部女性未来育成センター

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

TEL/FAX: 089-927-8602 E-mail: hime@stu.ehime-u.ac.jp

発行日: 2013年12月

☆☆愛媛大学 理系女子の生態観察☆☆

女子のみなさん！理系の生活や勉強って気になりませんか？少しだけ紹介します。

☆☆理系進学のおすすめ☆☆

「好き」「やりたい」を勉強しよう

理系希望のみなさん！したいことを見極めよう☆

一口に「理系」と言ってもたくさんの学部がありますよね。愛媛大学にも理学部・工学部・農学部・医学部・SSCがあります。(医学部はどういうことをするかわかりやすいですし、SSCは愛媛大学特有のものなので、今は置いておきます) たとえば、「生物や植物が好き！」とした場合、選択肢としては「農学部」と「理学部」があげられます。「化学が好き！もっと化学を勉強したい！」という場合、「理学部」「工学部」「農学部」が選択肢にあがってきます。ですので、自分がその学問で何をしたいのかしっかり考えてみて下さい。植物の勉強と言っても「どうしてこうなるのか解明したい」と「新しい品

種を作りたい」では選ぶ学部が変わります。他の分野でも同じことです。ですが、中には「理系は決めてるけど、何がしたいというのわからない…」という人もいるのではないのでしょうか。そういう人はぜひオープンキャンパスに行ってみて、実際の大学を見て下さい。色々な大学がみなさんのために学部選びの材料を用意してくれています。愛媛大学でも希望すればオープンキャンパスで学生が学内を案内してくれます。女子向けには女性未来育成センターが主催する「サイエンスプリンセスプロジェクト」もあります。納得のいく学部選びに役立ててくださいね。



理系といっても勉強はさまざま！

【理学部】
解明されていない自然のしくみについて、追究・発見することを目的としている。

応用

【工学部】
工業的な技術をもって社会貢献に直結する技術を生み出す。

【農学部】
農林水産業や環境の貢献に直結する技術を生み出す。

学部について

上で紹介したように、したい勉強が同じでも、それをどうしたいかによって行くべき学部が変わってきます。中でも、学部選びの時にだいたいどこにも関わってくるのが「理学部」。「理学部」って何をするとところなのかご存知ですか？よく聞く学部ですが、何をするかは案外知られていないのでは？「理学部」は、まだ明らかになっていない自然のしくみを追究するところです。とても簡単に言うと、たとえば「風がふくのはどうしてか」というようなことを考える学部。数学・化学・

生物・物理・地学の各分野があります。そしてその明らかにされたしくみを利用してものを作るのが工学部や農学部です。「どうしてこうなるか」を考えるのが好きな人、発見が好きな人は理学部が楽しいかもしれません。しかし、これは本当におおまかな説明です。学校によっては学部の線引きが曖昧なところもあるようです。他の学部の機材を借りて実験をしたりすることもあるのだとか。



スカシカシパンという名前の生物です。

「サイエンスプリンセスプロジェクト」

上で紹介しました、「サイエンスプリンセスプロジェクト」。これって何？と思った人もいます。これは愛媛大学の理系女子学生グループ「サイエンスひめこ」が企画・運営をするイベントです。女子中高生の方に向けて、「サイエンスひめこ」自身が中学生や高校生のときに知りたかったこと、見たかったものや考えながら準備し、「卒業生講演」「研究室訪問」「座談会」「相談コーナー」を設けます。「卒業生講演」では愛媛大学を卒業し、すでに社会人として働いているリケ

ジョが女子中高生に向けて仕事や大学、自身の経験話を話して下さい。「研究室訪問」では学部の研究室を見て回り、学生や先生が研究内容を説明。「座談会」では「サイエンスひめこ」が自分の大学生活を紹介したり、女子中高生の質問を聞いたりします。暑い中ではありますが、毎年好評のイベントなので、「理系女子ってよくわからない」という方には役に立つと思います。ぜひ参加してみてください。

◀卒業生講演
▼研究室訪問



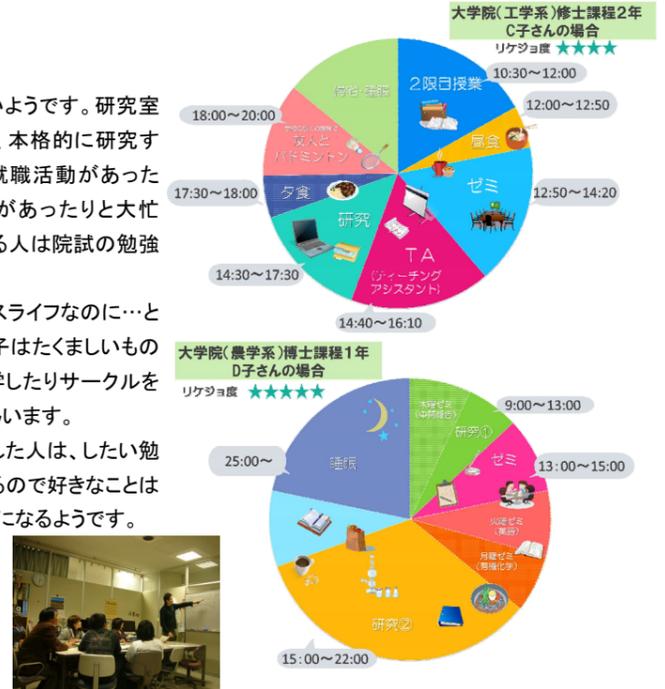
▲座談会



観察1:生活

最初は講義で忙しいようです。研究室に配属される(つまり、本格的に研究するようになります)と就職活動があったり、卒業研究の準備があったりと大忙し！大学院へ進学する人は院試の勉強をします。せっかくのキャンパスライフなのに…とお思いでしょうが、女子はたくましいもので、バイトをしたり留学したりサークルをしたりする人はたくさんいます。学部選びをしっかりと人は、したい勉強をしていることになるので好きなことは自然とがんばれるようになるようです。

研究内容や成果を先生と研究室のみなさんに見てもらいます。



観察2:女子度

「理系女子」といえばどんな姿を想像するでしょうか。今のリケジョは女子度が高い人が多いです。「キレイなお姉さん」タイプや「森ガール」タイプなど様々な女子がいます。また、発表になれているせいか、自分の意見を論理的にきちんとと言える人が多いようにも思います。リケジョの素敵なところは、見た目は「女子！！」でも口を開けば「骨格標本を集めてます」「ハエを取ってきました」「玉ねぎが大好き」というセリフを笑顔で言うところ。そんな時の彼女たちは目がキラキラしています。一番女子っぽい顔をしているかもしれません。(笑)

リケダン(理系男子)が語るリケジョの魅力



文系女子も理系女子もそんなに違わないと思います。でも、男性と女性の思考は違うので、いつも参考にしています。

女性の先輩がいて、丁寧に優しく接してくれるので、人見知りのボクですが、問題なく過ごしています。とっても過ごしやすいです。

リケジョは自立した人が多いですね。協力する時はさっと集まり、そうでないときはサラッと一人で行動しています。女子同士の人間関係も、そのせいか、うまくいっているようです。



リケジョの研究室の机。女子度高め！

観察3:成長

理系女子の悩みの一つはやっぱり「女子が少ないこと」かなと思います。愛媛大学でも理系学部の女子が増えていますが、学部学科によっては女子が学年に一人というところも。研究室に女子が一人、というところもあります。最初は驚くそうですが、自分もこの勉強がしたくてこの学部に来たんだから！とリケジョはたくましく成長していきます。いつの間にか研究室の支配者になっていたり、「先生に顔を覚えてもらえる」「就職活動の時に女子が少ない環境でが

ばったことをアピールできる」など女子が少ないことを逆手に取るリケジョもいます。勉強が専門的になっていくほど、自分のやりたいことに近づくので環境は気にならないのかもしれませんが。男子だろうと女子だろうと、勉強に性別は関係ないです。最近リケジョを応援し、支援してくれる大学や企業が増えていきます。迷っているなら飛び込んでみたら…？

リケジョから未来のリケジョへメッセージ

実験課程では壁にぶつかることもあるけど、目的のものができたり、これまで明らかでなかったことが自分がかかわった研究で明らかとなったときの達成感たるや!!

中・高時代から、女の子同士で連れ立ってトイレに行くことはなかった！今も研究室に女の子ひとりだけど、全然ヘイキ。見た目以上にタフです。そのせいか、就活も全然苦労せず決まりました！(^.^)

ほとんどの論文や書籍は英語でかかれています。機器の取り扱い説明書も英語のときもあります。留学生との会話も英語です。英語が苦手な人は勉強した方がいいですよ!!

大学の先生や研究員の方、院生など、知識や技術の豊富な方々から沢山の実験技術や専門知識を身に付けることができます。また、研究室の交流会で他分野の知識も得られます。